



第7回

床矯正つてなに？ 乳歯から始める歯列矯正

意外と知らない歯の健康知識

床矯正とは、乳歯と永久歯が混在する状態から、歯並びを矯正する治療方法。負担は軽く、短期間で治療できるとあって、小さなお子さんをお持ちのママさん方に注目されています。今回は開業以来、床矯正治療を行なっている「よしむら歯科医院」の吉村晋一先生に話をうかがいました。

床矯正はいつから始められるの？

床矯正とは、取り外し可能な装置で、あごを広げながら歯並びを矯正する治療方法です。よく知られている矯正は、永久歯が生えそろうってから治療するので、歯並びを治すには歯を抜かなければなりません。しかし、小さい頃からフッ素で大切に守ってきた歯を抜くのはもったいないこと。そこで、注目されてきたのが床矯正です。床矯正を行なうのに最もいい時期は、永久歯が生え始めた頃から八重歯が生えるまで。根深く動きにくい八重歯が生えて

どんな器具を使うの？

床矯正治療は、中央にネジ回しのある入れ歯のような装置を取り付け、歯が並ぶスペースを確保していきます。永久歯はスペースが確保されていれば正しい位置から生えるので、乳歯を矯正しても効果はあります。一般的な矯正器具は月に一度、歯科医院で力を加えることが多いですが、床矯正の装置は、1ヶ月で1ミリあごが広がるように週に2回自分で広げます。広げ方は、装置中央のネジを回すだけ。6歳ぐ

治療中に気をつけることは？

矯正治療中は、装置を装着することはもちろん、噛む練習をすることも大切です。物を噛まないでいると、顔が成長しても顎が大きくなりません。そのため、永久歯が生えるスペースがなくなり、本来生えるべき場所とは違うところから生え、歯並びが悪くなる原因になります。そのため、唇の力や噛む力が弱い子には、チューブなどをくわえて、トレーニングをしてもらいます。

この先生に聞きました！



よしむら歯科 吉村晋一院長
朝日大学出身(旧岐阜歯科大学)約2年前に同院を開業。「痛くない、通いやすい歯医者さん」が目標。院内の治療室や待合室にはキッズコーナーを設置。ファミリーで通院する患者さんも多い。

らのお子さんなら自分で簡単にできます。装着時間の目安は1日14時間で、寝るときは装着し、食事をするときは外します。

わります。矯正の開始時期が早ければ早いほど早く終わり、当院では3ヶ月で終了した例もあります。治療期間が短く、痛みがあれば外せる床矯正は、お子さんの負担が軽いのも魅力といえるでしょう。費用は、装置代が6万円、診断・模型などの料金が3万円(いずれも税別)です。当院では、矯正が必要かどうかの診療を無料で行なっていますので、お気軽にご相談ください。



治療室にキッズスペースがあるのが嬉しい



床矯正の装置(上顎)スクリューキーで中央の部分を回す。



床矯正の装置(下顎)

こうした練習と装置の装着を並行して行なえば、歯並びは変

【床矯正】

メリット	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に歯を抜かない 装置の着脱が可能 顎が成長中の子どもに最適
治療の特徴	歯並びを整えるだけでなく、土台となるあごを広げ、かむ訓練により顔全体が正常な機能を取り戻す
費用	早期であれば10万円から治療可能

よしむら歯科医院
TEL.06-6835-5547
豊中市新千里南町3-1-14
ナカニシビル2階
受/9時半~12時半、14時~19時
土曜日 9時~14時
休診日/水曜・日曜・祝日
<http://www.shika-yoshimura.com/>

ホワイトニングコラム
プチホワイトニングで、清潔感ある口元に。
プチホワイトニング(3150円)は、約15分で歯のクスマや黄ばみが取れ、歯が白く美しくなる治療方法です。治療時間が短く、その場で色の違いがはっきり分かるのが特徴です。気軽にできるので是非、お試しください。